猿式第3÷	<del>5</del>				争務争身	<b>長評価表(平</b> 月	(26年度)								
事業コー	, K	1829		課コード	0602	会計	種別 一般会計				予算の種類		政策	■経常 [	□なし
1. 事業	の概要(PLAN)														
		①事業名	基本事業	ナムサカマのクォルニー	実施計画/		〇有	〇無	②部課:	名	建設部・交通	5課			
(1)事業概要		③事業主体		t公共交通総合連携計画 )その他(	の推進	) ④対象地区		□我孫子  □天王台		□湖北□□新木		□布佐 ■全市 0.8 人)			
		⑤事業期間		平成25年度 ~				牧						算人数	
		⑦事業費 (人件費含む)						年度 (当	初)	23, 647		ち人件費 ち人件費	7,440 千円)		
			施策		重点プロジェクト		基本計画地					計画への	(-1)	TH)	
		⑧施策の位置づけ	コード	63402	への位置づけ 必要な移動ができるよう、駅や各版	重点 4	計画への位置	置づけ		●無 <b>※</b> (これ用っさる	位i	置づけ	(計画名)		
(2)目的		施策目的 · 展開方向	路線の延長など			誰もが安心・安全・快適に利用できる公共交通の確立 地域が育む公共交通の確立									
					、低床車両の導入を支援します。 トワークを軸としたあびバスの運行	ī			子市地域公共交通						トの実証運行
(3) 事業内容		内容		当該年原 執行計画	<b></b>	検証する。また、あびバスの地域の情報発信媒体としての可能性を検証する。									
(8) 7 34 1 1		., .					当該年原	. 実証	運行を含むあびバ	ス運行路線数。				想定值	
								き   ヘ 吐	Name I C I C C C C C C C C C C C C C C C C			単位 箇所 実網			
(4)達成目標(期待する成果)		05左左由长14.00	・     達成目標(期待する成果) 線変更や料金改正後の検証を行う。また、各路線毎の課題を整理しより地域に沿った運行形態をとる。					g par	ch=ry=(-+ +					(5) 現況値	(6)目標(
当該(開	台) 年度 ————————————————————————————————————	20十尺天池した町株文文で行並は正弦の快祉と刊り。よた、古町株母の味趣と主座しより地域に沿りた建门形態ととる。 各路線毎の課題を整理しより地域に沿った運行形態をとる。							БIЛ 3						
3年後 最終(概ね5年後) (7)事業実施上の課題と対応		各路線毎の課題を整理しより地域に沿った運行形態をとる。							実証運行を含む、あびバス路線数。 箇所 実証運行を含む、あびバス路線数。					5	
					直接	夫証	美証連行を含む、めいハス路線数。 箇所 5					5			
		バスの台数や運行費用の関係で、地域のすべてのニーズに応えることは難しい。特に運行ルートによっては利用者が少め、運行経費の削減にも努めなくてはならない。こうした状況をいかに地域の方に理解していただくか、情報の発信の仕考える必要がある。						討	<b>○</b> 有 ●無						
		ちんる必安かめる。	。 平成 2 5 年度	Ę	7	成26年度			平成27年	<b></b>			平成 2	8年度	
	実施内容	政策	内 容	金額(千円)	政 内 容	金額(千円)	実績値(千円) 政策		内 容	金額	頁(千円) 政策		内 容		金額(千円
		地域公共交通連 我孫子市地域公	■携事業 公共交通協議会負担	担金	我孫子市地域公共交通協議会 協議会運営費	負担金		找孫子市地域 協議会運営費	公共交通協議会負	1担金		我孫子市地域協議会運営	域公共交通協記 費	義会負担金	
		協議会運営費 ・委員報償		358	・委員報償 3 ・需用費	269 20		・委員報償 ・需用費				・委員報償 ・需用費			2
		3,500円×17.	人×4回=238千円 人×4回= 120千	9	· 事務費 · 役務費	150 11		・事務費 ・役務費			150	・事務費 ・役務費			1
		・旅費・需用費		70	) * 実証運行費(根戸ルート)	11, 334 1, 700	* 5	実証運行費 (	未定) ニティバス負担金	,		実証運行費	(未定) ュニティバス1	自拍金	2, 7
(8) 施行事項		・事務費・役務費		150	印西市コミュニティバス負担			,,,,,,,,,	一,小八八尺正显	•	2, 720	F-11-11-1		Z 122 312	_, ,
	, A	* 実証運行費(根 * 調査・計画策定		8, 596 3, 000	6										
			ニティバス負担金												
	予算(済)額		計	14, 961		16, 207			合 計		3, 173		슴 計		3, 1
	国庫支出金 県支出金	補助率補助率	0 % 0 0 % 0 0 % 0 14, 961		前 補助率	0 % 0 0 % 0	補	助率 助率	0 %		0     補助率       0     補助率		0 % 0 %		
(9) 財源内訴	一般財源	充当率			1	16, 207		当率	0	0     充当率     0 %       3,173     0 %				3, 1	
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他 □ 0. 7,44				<u></u> ‡	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他   0 □特会 □受益 □債務 □基金 □その					査 □債務 □基	金 □その他	0.	
(10)人件費等	连 正職員人件費 嘱託職員報酬額												8, 37		
事業費(予算	臨時職員賃金額 (済)額+正職員人件費)			22, 401		0 23, 647					0 11, 543				11, 54
(11)単位費月 (事業費	用 :/活動結果指標)		5,600.25千円/1	箇所	4, 729. 4千円	/箇所									
2. 事業	の評価(DO+CHECK	)													
	評価項目				前評 価				後評価(評	価結果に応じ、	改善案検討(	拡充も含む)	) )		改善検討
					対応する必要性が増していますが、 J用者が減少した民間バス事業者や				でなかった						
	が今必要である理由・ は?(事業の必要性)				【暖化対策の重要性も顕著になってる 連携しながら、地域にあった交通			<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>							
		公共交通形態の確定													
必		(理由) □法令等	で市が実施するこ	等では実施できない ことが定められている	<その他の内容>			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった				:   <市実施の具体的な内容・必要性の理由>			
要		■提供主作 □その他	体が市しかない			□③市が先導役 & 促進された									
性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)		O②自治体である	市が推進すべきで	<u></u> である	<その他の内容>		□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他						〇要		
				こより実効性が得られる こにより、良質で安定し											
		サービ	スが保証される	リ政策・施策の目標の			<その他の内容>								
		実現が図られる 口その他													
			参加・協働の内	内容 	工夫の具体	的な内容			体的な内容(又は る場合にはその内			参加・協働	動の程度・内容	3	
参 加		●①事業計画時に ○②事業実施時に			我孫子市地域公共交通協議会に た、実証運行にあっては地域住	ま	2.2.540			〇①当初期待 l 〇②当初期待 l					
<ul><li>市民の</li></ul>	参加や市民との協働を	〇③管理・運営に 〇④市民の自主的	市民の参画有り	ている	一トの設定を行っている。						○③当初の期待以下				〇要
働 (体制づ	ているか? (くり)	〇⑤市民と共同で 〇⑥その他								<	(期待した以上	となった理	由/期待以下:	であった原因>	
デ 夫		<その他の内容>			1		4								
			配慮の視点		取組む	内容		実施した具	体的な内容				への配慮		
環	配慮して事業を進めて ?	□①自然環境を生 □②生き物と共存	すしている								○①想定どおり ○②想定どおり		=		
境 環境に配		□③手賀沼を意識 □④環境負荷低減								<	(想定どおりで	なかった原[	因>		〇要
境への配慮 環境に配 での配慮		■⑤その他													〇不要
-		<その他の内容>       該当なし													
		現況値(a)(箇所)   目標値(b)(箇所)   目標値の妥当性のチェック					達:	成状況		目標値達成					_
(1) E +=	設定は適切か?			■①客観的なデー	- 東中に甘ざも知ウレマいて		実績値(f)(箇所)	達成率 (f/b×	100)	目標値未達成					—— O要
(1) 日標		5	5	□③現況値との差	ヽ実現性か之しい値ではない 差が小さい値ではない 対象が有る場合、比較対象例におけ	る日煙値(と用辺値の美)に		(1/DX	<目標	<目標を達成した理由/未達		った原因>			〇要 〇不要
	費削減の工夫をして か?		7 = 40 - 40 - 10	同等の水準で	である	wロ粽値(C児沈旭の差)と		<u> </u>		<b>11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11.</b>			th o their to		
		対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円) 事業費削減額(d) □①国・県助成制度活用				実施予定の対策 用 □⑤PFI等民間資本の活用 由。		施状況 対事業領	★ 本 世 カ (06) ○②概ね想定事業		以内 O	事業費 ①事前の想定	費の削減対策に をどおり	ついて	
効		事業質(0)(十円)       (千円)         ■23 647       △1 246         □③維持管理費の削減策の実施       □⑦その他					実績値(g)(千円)	(g/c)		想定事業費超過			ここの , 官どおりでなか	いった	
いる		23,647	23,647   △1,246   □④民間委託   事業費削減率(%)   <削減の内容>				<超過理由等>	1		<想定どおり削減できなかった原因>				〇要 〇不要	
性				111111111111111111111111111111111111111											0.1.3
		Δ5	5. 56												
	を実現する為に		目標値対事業費(6		計算方法		達	成状況		目標値以上 目標値と同程度	<目標値以.	上となった理	里由/目標値以	J下であった原因	
(3)日押	値を実現する為に		71 2/11-1		●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標:(目標値一現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100		度				〇要 〇不要
投じ	値を実現する為に る事業費は適正か? 霊対費用)	0.00			○②複数年度の指標:(目標値-取	見況値)× 費用単位/事業費		(11/6)	7.100						
投じ		0. 02		前所 10万円	○②複数年度の指標:(目標値一到	見況値)× 費用単位/事業費 		(11/ e)							
投じ	る事業費は適正か? 票対費用)	0.02			○②複数年度の指標:(目標値ー型	見況値)× 費用単位/事業費		(II/e)							
投じ(目标	る事業費は適正か? 票対費用) <b>評価</b>		) (新合)	10万円		現況値)×費用単位/事業費 事業完了など)		(11/ 6)		办差华亚	<b>正関士</b> 点				
投 <sup>じ</sup> (目本	る事業費は適正か? 票対費用) <b>評価</b>		) (新合)	前所 10万円				(II/ e)		改善策及び原	展開方向				